

旬花報

6号
2008.3.31

発行 群馬県立女子大学
同窓会事務局
370-1193 佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL : 0270-65-8511
URL : http://www.gpwu.ac.jp/



学長
富岡 賢治

飛躍する学生たち

陽春の候、同窓会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今回の旬花報は、大学祭にスポーツをあて、学生たちの奮闘ぶりをお伝えしたいと思えます。

去る平成19年11月10日(土)、11日(日)に、第26回錦野祭が開催されました。

学生たちは従来の企画に加え、関東大学生ストリートダンスコンテスト、軽音楽部の野外演奏、後夜祭でのクロージングファイヤー、室内外で遊べる子供イベント、校内放送プログラム、モニュメント・門柱作成など、新しい企画にチャレンジしました。

中でも、軽音楽部は新館前ステージという格好の舞台を得て、錦野祭初の試みとしての2日間に渡る野外ライブを企画し、日夜練習に励みました。

また、ダンス部は、関東近県から大学生チームを数多く招き、有名なゲストやジャッジを迎えるという本格的なストリートダンスのイベントを企画し、当日、大盛況のうちに終



同窓会長
野村留美子

了いたしました。

生憎の天候でしたが、過去最多の3600名の来場者を迎え、学生一人一人が持てる力を存分に発揮し、充実した2日間となりました。

このような学生たちの新たな挑戦の影には、学長のあたたかく、たゆまない励ましと心強い後押しがあつたと伺っています。

その当時のエピソードを綴った学長の随筆が読売新聞に掲載されましたので、ここで全文をご紹介します。

手作りダンス大会

女子学生たちに、「大学をもっと良くするための提案はないか」とよく聞く。一人の学生は「学園祭をもっとにぎやかにしたらどうか」と言ってきた。大賛成なので、学園祭の実行委員の学生たちに提案した。「良い案があれば、大学として大いに応援する」と。

具体的な案を待った。ただ全国の大学の学園祭でも、芸能人のショーか、ミス・コンテストがせいぜいだ。そこで、私から提案した。「ダンスの大会をやったらどうか」と。「クラシックではない。あのストリートダンスだ。

県内だけではなく、東京や関東全域に声をかけて大きなコンテストをやれば、にぎやかだぞ」と、ダンス部に気合いを入れた。初めは「エーツ、どうしたらいいんですかあ…」などと言っていたが、やがて、目が輝いてきた。

しかし、「東京の大学のチームに声をかけるには、どうしたらいいのか」などと聞く。「各大学に手紙を出しましょうか」と。

それは、我々世代の古典的手法だろう。手紙を受け取った大学も、学内のストリートダンスのチームなんか把握しているはずがない。君たちのネットワークがあるじゃない。口コミでもよい。「やるだけやってみな」と、彼女たちの情熱と奮起を見守った。

2か月経過した。学生たちが頑張つて色々のルートをたどつたらしく、県内外の東京、茨城、山梨など、約30大学から参加の返事が来た。審査員やゲストに有名な人気ダンサーもそろつたと連絡してきた。

良かった、良かった、やればできるじゃないか。それで、「主要チームや審査員達が東京などから、ほぼ無料で貴重な土曜日に本当に来てくれるの」と聞いたら、「メールで返事が来ますから大丈夫」と言う。一度も会わない、メールのやりとりだけで「確信できるのか」と、私なんかは思う。彼女たちも、



ダンス部とダンスコンテスト出場者の皆さん

ダンスの世界の重要人物を招いたが、何人かは、メールの返事も無いことは心配している。

「諸君、なかなか会えない人には、夜討ち朝駆けしなさい。朝早く、その人の住居の前で待つて、頭を下げてお願いしなさい」と助言したが、「夜討ち朝駆けして何ですかあ」。

彼女たちの大変な努力で、大学の屋外広場で27チーム120人の参加を得た、華やかな、しかし、手作りのコンテストの準備が完了した。ところが、本番の今月10日は雨。慌てて体育館に移動して少し地味にはなったが、大勢の若い観客が集まった。

翌日、学生たちを褒めた。「なぜ成る、為さねば成らぬ事も」という言葉を聞いたことあるでしょ」と。

彼女たちは「初めて聞いた」。

(平成19年11月17日(土)、読売新聞

「随想ぐんま」に掲載)

学生活動支援金にご協力ありがとうございました

皆様からいただいた支援金の中から、大学事務局より推薦されたダンス部、軽音楽部より嘆願書をいただき、大学事務局・同窓会本部役員の厳正な審査のもと、大学祭での有意義な活動を支援すべく、各部に5万円ずつ給付いたしました。

暖かいご支援、心よりお礼申し上げます。

ダンス部、軽音楽部の当時の部長さんより、お礼の手紙が届いています。

【ダンス部】

私たちダンス部は、昨年11月に行われた錦野祭において、「関東大学生ストリートダンスコンテスト(Can-D case)」を開催いたしました。コンテスト当日は生憎の雨の為、体育館での開催となりましたが、たくさんの方たちに足を運んでいただき、大盛況のうちに終えることができました。

来場いただいた方たちはもとより、出場した大学生やゲスト・審査員の方たちにも「楽しかった」などのお言葉を頂き、開催した側としては大変嬉しく思っております。

また、2日間を通しての錦野祭も来場者数が過去最高を記録するなど大成功でした。

これもひとえに皆様のご支援があつてのことであり、ダンス部一同大変感謝しております。本当にありがとうございます。

来年もこの経験をもとに、より一層邁進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

群馬県立女子大学ダンス部 KENNJOY
部長 小松 麻美

【軽音楽部】

我々軽音楽部はこれまでの学祭では屋内でライブを行っていましたが、今年は初の学祭野外ライブを企画しました。野外開催にすることで従来より多くのお客様に来ていただき、部内の、また大学そのものの活性化を目指すことを目標とし、準備に取り組みました。

そのために従来は行つたことがない宣伝活動や集客活動を行い、また万全な状態で野外ライブをするための機材の修理、補完なども並行して準備していきました。

これらは、従来予算では賄いきれませんでした。結果的には雨天により屋内での開催になつてしまいましたが、部員一同が団結したこと、従来よりも多くのお客様に来ていただきました。

学祭の成功は、同窓会の皆様の母校を愛する心によつて導かれたと思つていきます。部員一同感謝しております。

本当にありがとうございました。

軽音楽部 部長 中村 一葉

引き続き 学生活動支援金にご協力お願いいたします。

群馬県立女子大学・学生支援金

口座番号

・郵便振替 (同窓会費に同じ)
00550-5-19825

・群馬銀行 前橋北支店 (普)
0850840

(支援金一口 1,000円)



和・洋・中華・デザートまでそろつたビッフェ・スタイルが人気でした。

平成十九年度 総会・懇親会

去る平成19年6月16日(土)、群馬県立女子大・新館6Fホールにおいて、平成19年度総会・懇親会が行われました。晴天に恵まれ、初夏を思わせる日差しの中での開催となりました。会場からは大学の新しい活力が感じられました。



軽音楽部の皆さん

れ、40人弱の出席者でしたが、ほのほとした雰囲気での会となりました。出席していただいた皆さんの感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

*遠方のため、なかなか参加できませんが、今後でもできるだけ来たいです。久しぶりに友人に会えて楽しかったです。(T・Y)

*初めて参加しました。とても楽しかったです。卒業して何年もたつと、なかなか同窓会活動にも参加しにくくなつてしまつたので、もう少し多くの卒業生が参加できるような催し・活動があるといいなあと、思います。(K・E)

*参加者が少ないので、少し寂しいです。何十年ぶりかであつた同期の人に会え、その人の子供が大きかつたのでびっくりしました。(S・Y)

*役員の皆様、お疲れ様です。前回から参加させていただいています。学生時代はゼミ、サークルのつながりが強かつたので、今度、ゼミ単位、当時の教授単位でお声がけをすると、もっと集まるのではないのでしょうか？

せっかくなので役員の方のいろいろとして下さつているのにもつたない気がします。(K・E)

*新館がともきれいで、眺望が素晴らしいです。参加者が少ないのが、やはり寂しいです。(A・A)

*なかなか会うことのできない人に会うことができ、嬉しかった。大学に来ることもあまりないので、懐かしかったです。(H・T)

*おなかいっぱいで満足です。スタッフの手順の悪さもありましたが、がんばつてください。(S・Y)

*久しぶりに友人に会えて、とても楽しく過ごせました。(K・M)

平成18年度 決算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 543,697	広報費	¥ 141,750
18年度学部入学会費	¥ 472,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 70,875
18年度分年会費	¥ 554,000	事務用品	¥ 76,060
		郵便・郵送費	¥ 31,230
		振込手数料	¥ 665
		会議費	¥ 10,780
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		(支出小計)	¥ 361,360
		予備費	¥ 1,208,337
合計	¥1,523,697	合計	¥1,569,697

(付表1) 平成18年度 広報委員会 会計報告

収入の部		支出の部	
本部会計より広報費	¥ 141,750	旬花報4号印刷代	¥ 141,750
	¥ 141,750		¥ 141,750

平成19年度 予算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 1,208,337	広報費	¥ 200,000
19年度学部入学会費	¥ 422,000	企画費(18年度紫桜賞)	¥ 50,000
19年度分年会費	¥ 500,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
		懇親会補助金	¥ 100,000
		紫桜会入会記念バッジ	¥ 75,000
		事務用品	¥ 80,000
		郵便・郵送費	¥ 400,000
		振込手数料	¥ 10,000
		会議費	¥ 30,000
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		備品(事務処理用パソコン)	¥ 500,000
		(支出小計)	1,525,000
		予備費	¥ 605,337
合計	¥2,130,337	合計	¥2,130,337

平成19年度 決算(案)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 1,208,377	広報費	¥ 144,375
19年度学部入学会費	¥ 446,000	企画費(平成18年度紫桜賞)	¥ 50,000
19年度分年会費	¥ 409,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
		懇親会補助金	¥ 51,349
		紫桜会入会記念バッジ	¥ 75,000
		事務用品	¥ 157,171
		郵便・郵送費	¥ 36,840
		振込手数料	¥ 2,030
		会議費	¥ 13,517
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		備品(事務処理用パソコン)	¥ 204,431
		ホームページ管理費	¥ 34,000
		ホームページ修繕費	¥ 100,000
		(支出小計)	¥ 952,513
		予備費	¥ 1,110,824
合計	¥2,063,337	合計	¥2,063,337

平成20年度 予算(案)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 1,114,624	広報費	¥ 200,000
20年度学部入学会費	¥ 422,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
20年度分年会費	¥ 50,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 75,000
		事務用品	¥ 80,000
		郵便・郵送費	¥ 50,000
		振込手数料	¥ 10,000
		会議費	¥ 30,000
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		HP年間管理更新費	¥ 50,000
		諸経費(錦野祭差し入れ)	¥ 4,000
		(支出小計)	¥ 504,000
		予備費	1,536,624
合計	¥2,036,624	合計	¥2,036,624

紫桜賞は『第26回錦野祭実行委員会』 に決定致しました。

第26回錦野祭実行委員会

活動内容

大学祭をもっと盛り上げたいという熱い思いから、従来の企画に加え、新たな企画に積極的にチャレンジし、学生の主体性・自立性を引き出し、学生一人一人が持てる力を存分に発揮できるような大学祭創りにおおいに貢献した。

平成18年度 活動報告

月日	活動内容
18.4.5	会長入学式出席 入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰 「旬花報」[年会費納入通知発送] 役員会議・幹事会、総会打合せ
5.14	役員会議・幹事会、総会打合せ
6.3	平成18年度幹事会・総会
11.26	役員会議・第1回広報委員会議
19.2.7	第2回広報委員会議
2.18	役員会議
3.10	第3回広報委員会議
3.23	会長卒業式出席
3.25	役員会議 入学記念品「バッジ」袋詰め作業

平成19年度 活動報告

月日	活動内容
19.4.5	入学式出席・入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰
4.15	役員会議・幹事会案内発送作業 「旬花報」[年会費納入通知発送]
5.12	平成19年度幹事会、役員会議
5.20,24	懇親会・総会案内発送作業
6.10	役員会議
6.16	平成19年度懇親会・総会
8.4	パソコン導入、同窓会室引越完了
8.11	役員会議
10.13	役員会議・「紫桜賞」募集、支援金決定
12.16	役員会議、第1回広報委員会議
20.2.10	第2回広報委員会議
2.29	「紫桜賞」決定
3.16	第3回広報委員会議
3.21	卒業式出席
3.	役員会議 入学記念品「バッジ」袋詰め作業

平成20年度 活動予定(案)

月別	活動内容
20年 4月	入学式出席・入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰 役員会議・幹事会案内発送作業 「旬花報」[年会費納入通知発送]
5月	平成20年度幹事会・総会
6月	役員会議・幹事会議事録発送作業
10月	「紫桜賞」募集、支援金決定
11月	役員会議、広報委員会議
12月	役員会議
21年 1月	役員会議
2月	役員会議・「紫桜賞」選考会議 広報委員会議
3月	卒業式出席

補足「卒業準備金 預かり制度」発足に伴う預かり金について

預かり金額	期	預けに来た人	預かった日
¥ 88,527	17	国文学科 竹野あゆみ	2001. 3. 18
¥ 70,000	13	国文学科 齋藤 恵	2001. 9. 11
¥ 98,916	18	美学美術史学科 野手 千歌	2001.11. 2

通帳(群馬銀行 玉村支店)にて管理

学生支援金 平成20年2月29日現在

収入の部		支出の部	
19年度支援金	¥ 254,000	支援金として	¥ 100,000
		(ダンス部・軽音楽部に各50,000円)	
		振込手数料	¥ 525
		次年度繰越金	¥ 153,475
合計	¥ 254,000	合計	¥ 254,000

停年を迎えて

美学美術学教授 戸澤 義夫

開学以来、平成19年度末まで、実に28年間
本学に在職したことになるが、本学を去るに
当たって、現在の正直な気持ちを述べておき
たい。

今道友信の詩集『チェロを奏く象』の中に
自分の歴史に関して「もう取り返しがつかない
気がする。何が取り返せないのか。それを
聞かれると困るのだが」（『町と塔と塚』）と
いう一節があるが、茨木のり子は、それに関
して「存在の哀れ 一瞬に薫り たちまちに
して消え……そんな時は限りなくあったのに
それがなんであつたのか 一つ一つはもう辿
ることができない 誰かがかき鳴らした即興
のハーブのひとふしのように」（『自分の感
受性くらい』「存在の哀れ」と語る。しかし、
歴史にあつて「すべては動くものであり す
べては深い翳りを持ち なにひとつ信じてし
まってはならない」（『対話』「いちど見たも
の」）のであり、「がらくたのなかにおそるべ
きカラットの 宝石が埋もれている」可能性
が常にあるのであるから、私は茨木のり子と
ともにこう語りたい。「舌なめずりして私は
生きよう」と。たとえ「みずから立つて 無
慙な蛙そっくりに大地にたたきつけられ」
（『対話』「劇」）たとしてもだ。何故なら、
私は準備していたのだ。
「本当の死と生と共感のために」（『対話』中
の「準備する」）

退官された先生方

国際コミュニケーション学部
准教授 砂押由佳子 先生

国際コミュニケーション学部
准教授 Rose Ralph Leon 先生

文学部 美学美術史学科
講師 波照間永子 先生



戸澤先生・授業風景

紫桜会のH.Pが
一新しました！

ホームページ

<http://shiou-kai.com/>

退任された役員の方々 「お世話になりました」

〔会長〕 城代富美江
〔副会長〕 狩野 順子
〔会計〕 村上みさお

さわやかな風になって

19年度の総会において、会長の禪を引き
継ぐことができました。

まつさらのところからの出発は試行錯誤
であり、不安を抱えた中での一歩でした。
何とか年間行事のペースもつかめ、総会や
旬花報等で会員の皆さまに活動状況をお知
らせるようになりました。これも一結
に行動いただいた役員、学年幹事の皆さま
をはじめ関係者各位の情熱あるご支援の賜
と思っております。感謝、感謝であります。
私自身、人間的にも成長させていただきま
したし、幅広い年代の方々とお話させて
いただくチャンスをおいただきました。これ
は、人生の宝物だと思っております。ありが
とうございました。

今後とも新役員へのご協力よろしくお願
いいたします。

美学二期 城代富美江

新役員紹介

〔会長〕 野村留美子
〔副会長〕 渡邊 生子
〔書記〕 一倉 晶子
〔書記〕 井熊 美保
〔会計〕 藤城美栄子
〔監事〕 篠原 若菜
〔監事〕 笹谷 知世
〔監事〕 佐々木洋子
橋本 順子



このたび同窓会長に就任いたしました野
村留美子です。

この同窓会を通して、懐かしい母校を訪
れる機会にも恵まれ、お世話になった先生
方や同級生に再会し、頼もしい後輩たちに
出会うことができました。

何よりも母校の発展を身近に感じられる
こと、心より嬉しく思っています。

微力ですが、役員の方々に助けていただ
き、同窓会活動に尽力して参る所存です。
どうぞよろしくお願いたします。

英文二期 野村留美子



新館「ピースカフェ」の人気スイーツ
シフォンケーキ

編集後記

同窓会費の口座番号をお知らせし
ます。

みなさまのあたたいご協力をよ
ろしく願います。

群馬県立女子大学同窓会年会費
口座番号

郵便振替

0055015119825

群馬県立女子大学同窓会

(一口 1,000円)